

あぐりサポートニュース

福島県農業振興公社だより

第 8 号 平成14年7月

発行元 福島市中町8番2号
財団法人福島県農業振興公社
TEL 024-521-9833 FAX 024-524-2393

「理事長就任にあたって」

理事長 菅野 純 紘



本年4月1日に財団法人福島県農業振興公社理事長に就任いたしました。

皆様には、日ごろより当公社の運営につきまして多大なるご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、当公社は、昭和40年の設立時から長期間にわたり公社業務の中心であった農村地域の工業団地造成事業や、農業生産基盤整備事業の担当部門であった事業課を、この3月31日をもって廃止いたしました。

このことにより当公社は、「農業経営基盤強化促進法」に基づく農地保有合理化法人並びに「青年等の就農促進のための資金の貸付け等に関する特別措置法」に基づく都道府県青年農業者等育成センターとして、名実ともに県行政の補完的な公益事業のみを行う組織となりました。

また、平成13年度には、「臨時石炭鉱害復旧法」に基づき、特定鉱害復旧事業を行う法人として指定を受け、今年度から当該事業を実施することとしております。

このように当公社の果す役割は、農業・農村の担い手育成や農地の利用集積による効率的な土地利用の推進、優良農地の保全管理など益々重要性を増してきているところであります。

しかしながら、近年の農業・農村を巡る情勢の大きな変化の中で、当公社の経営状況は累積欠損金が拡大するなど、年々厳しさを増してきていることから、このたび、組織及び人員体制の見直しを始め、事業の積極的な推進による収入の確保や、効率的な業務の執行による支出の削減等を中心とした、平成18年度までの5カ年間を対象とする第二次経営合理化計画を策定いたしました。

今後は、この計画に基づき、役職員が一丸となって公社事業の一層の推進に取組み、本県農業の持続的な発展に寄与して参る所存でありますので、益々のご支援・ご協力をお願い致しまして、ご挨拶とさせていただきます。

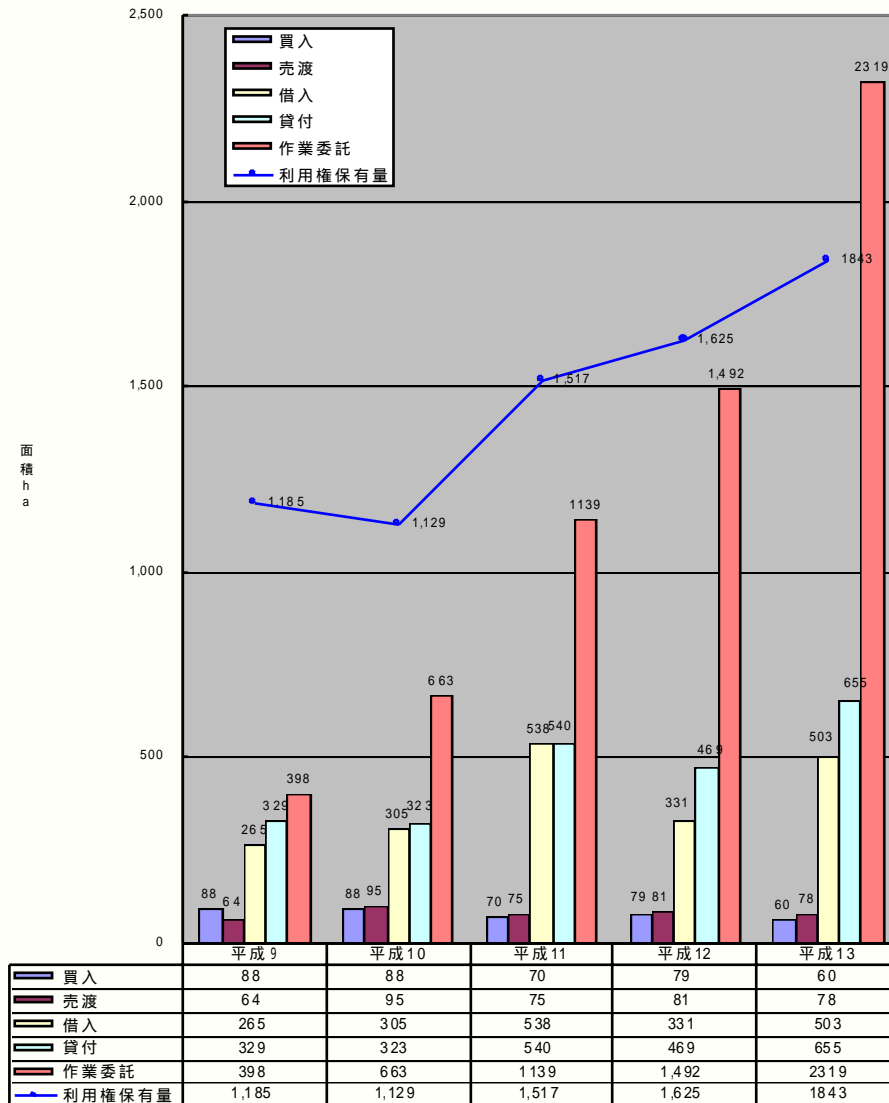
進む！ ” 利用権設定・農作業受委託 ”

平成13年度農地保有合理化事業等の実績がまとまりました。

ここ数年来顕著な伸びを示していた賃貸借・作業受委託は、当年度も著しい伸長を見せ、平成11年度では1,100 haほどだった利用権のストック量は、1,800 haを超えました。

一方、売買は地価下落傾向がとどまらないことなどから横這いが続いています。

福島県農業振興公社事業実績(9～13年度)



福島県農地保有合理化法人連絡会議設置される

平成14年7月18日 福島市 自治会館301号室において、関係市町村合理化法人、JA合理化法人、県、市町村関係機関総勢35名が出席し、第1回福島県農地保有合理化法人連絡会議が開催されました。

この会議は、当県公社が事務局となり農地保有合理化法人相互の連携強化と、農地保有合理化事業を活用した地域における効率的土地利用を推進することを目的として設置されました。

総務課

当社の理事、監事及び評議員を紹介します。

1. 理事及び監事

役職名	氏名	職名
理事長	菅野 純 紘	福島県農林水産部長
専務理事	星 恒 徳	前福島県会津農林事務所長
理 事	植 田 英 一	福島県酪農業協同組合代表理事組合長
"	橋 本 丑 恵	福島県土地改良事業団体連合会副会長
"	相 楽 新 平	福島県市長会（須賀川市長）
"	芳 賀 文 雄	福島県町村会副会長（鮫川村長）
"	石 村 義 光	福島県経済農業協同組合連合会代表理事会長
"	佐 川 栄 蔵	福島県農業会議副会長
監 事	大 内 忠 夫	福島県出納局長
"	北 條 武 勇	福島県信用農業協同組合連合会専務理事

2. 評議員

役職名	氏名	職名
会 長	渡 部 敏 則	福島県農林水産部次長
副 会 長	高 城 淳 起	福島県農業協同組合中央会常務理事
評 議 員	佐 藤 長 久	福島県農林水産部参事兼農林総務課長
"	茂 木 功 一	福島県農林水産部農村振興課長
"	永 石 正 泰	福島県農林水産部参事兼農業経営指導課長
"	藤 川 光 紀	福島県町村会常務理事兼事務局長
"	水 野 秀 一	福島県農業会議事務局長
"	山 田 政 昭	福島県土地改良事業団体連合会農村振興部長
"	高 田 泰	農業委員会（原町市農業委員会長）
"	小 林 一 良	福島県指導農業士会長

20年勤続職員表彰

去る6月18日に開催された理事会の冒頭、永年勤続職員が表彰されました。

20年勤続 青年農業者等育成センター主査 久保木和彦（写真 左側）
" 総務課主査 高橋しげ子（写真 右側）



「南会津の仲間達」

南会津農業青年クラブ 会長 山内喜伸

南会津農業青年クラブは、平成七年に発足後さまざまな活動を展開してきました。毎月一回の定例会の中では、ホームページ作成やプロジェクト発表に向けてのプロジェクト学習、異業種交流会などいろいろです。県連行事にも積極的に参加し、ソフトボール大会二年連続優勝やアクティブステージの実行委員を務め大成功をおさめました。この様な行事や秋に毎年行っている視察研修などは、福島



県青年農業者等育成センターの組織活動資金助成金をフル活用させていただいているおかげだと感謝いたしております。

今回、私たち南会津農業青年クラブが福島県農業賞という大変名誉ある賞を受賞出来たのも、関係機関の皆様のご支援とご協力があったからだと思います。そして今、活発な活動を展開してきたと同時に毎年会員が増えてきて、何をすることも楽しくなっています。今までさまざまな成果を上げてきたのも、どんなことでも出来そうな気がするのも、仲間が増え南会津農業青年クラブ員一人一人に勢いがあるからだと思います。だからこそ地域の皆様に私達の活発な活動が認められ福島県農業賞を受賞できたのだと思います。これからも、楽しい活動为目标に活発な活動をし、地域農業の活性化につながっていければと思っています。

編集後記

「ゴール」この言葉を耳にしてサッカーを連想する人がほとんどであった2002 FIFAワールドカップも終わり何か物足りなさを感じている今日この頃、にわかサッカーファンであった私も国の威信を掛けたゲームをテレビで観戦してスピード、パスの正確性等さすが世界レベルと驚嘆しておりました。4年後の世界カップドイツ大会での日本チームの活躍に期待したい。(S, S)

問い合わせ

あて先 〒960-8681
福島県福島市中町8番2号
財団法人福島県農業振興公社 総務課
TEL 024(521)9834 FAX 024(524)2393
みなさんのご意見ご感想をお寄せください。

この広報誌は、再生紙を利用しております。

「あなたを、守る シートベルト 忘れないでね」